



月経の出血量が多い人、
月経が10日以上続く人、
貧血の人は、
子宮筋腫を疑って

自分で守る女のカラダ

Vol.15 子宮筋腫

女性の4人に1人は持っていると言われるほど
婦人科系の疾患で多いのが子宮筋腫。
大きくなると生活に支障が出ることも。
どんな疾患かを知っておき、適切な対処を。



教えてくださったのは
宮沢あゆみ先生

あゆみクリニック院長。早稲田大学卒業後、TBS
に入社し、政治部や外信部の記者として活躍。そ
の後、東海大学医学部に学士編入学し、医師に。
米国や都内の病院勤務を経て開業。

過多月経や過長月経、貧血
などの症状が出る場合も

子宮筋腫は子宮の筋肉にできる良性
のコブです。40代の女性に多くみられ
ますが、20代前半でできることもあり
大きさは米粒大から大人の頭くらい
のものまであります。いったんできると
徐々に大きくなり、数も増えていく傾
向があります。筋腫の原因はわかって
いませんが、女性ホルモンであるエス
トロゲンの作用を受けていて、閉経す
ると縮小することから、女性ホルモン
が関与していると考えられています。

子宮筋腫は、できる部位によって3
種類に分かれ、子宮の外側の漿膜しょうまくの下
にできるのが、しょうまくか漿膜下筋腫、子宮の筋
肉の中にできるのが、筋層内筋腫、子
宮内側の粘膜から内腔に向けてできる
のが、しょうまくか粘膜下筋腫です。このうち小
さくてもトラブルが起きやすいのが粘
膜下筋腫です。筋腫は血流が多いので、
月経時に子宮内腔が剥がれ落ちるとき
に内腔に接する筋腫から出血すると、
ダラダラと止まらなくなるうえ、内膜
の修復も邪魔するので過多月経や過長
月経になり、貧血にもなりやすくなり
ます。月経時の出血が多い人や、10日
以上続く人、貧血の人はこの筋腫の疑
いがあるので婦人科を受診しましょう。

筋腫が悪さをしない位置にあり、症
状もないなら治療はせず経過観察を
します。ただ、症状がひどい場合などは、
薬での治療や手術を行います。薬の場
合は、ぎんけい偽閉経療法ぎんけいと言って、一時的
に閉経状態にする薬を用います。女性
ホルモンの分泌が減ると筋腫は縮小す
るためです。20〜30代の女性の場合は、
手術までのつなぎとして用いることが
多く、40代後半なら、手術は避けたい
けれど閉経までまだ時間がある場合に
用います。ただ閉経状態にするため、ホ
ットフラッシュなどの更年期症状が出
ることもあるので、半年を1クールと
して休薬期間を設けながら行います。

医師と相談しライフプランに 合った治療を選びを

一方、漿膜下筋腫は大きくなるまで
症状が出ないのが特徴。お腹が出てき
て、中年太り「中年太り」と思っていたら、巨大
な筋腫が見つかったという場合も多々
あります。前に張り出した筋腫が大き
くなると膀胱を圧迫して頻尿に、後ろ
に張り出した筋腫が大きくなると直腸
を圧迫して便秘になりやすくなります。

このように筋腫の治療法は、種類や
大きさや症状だけでなく、年齢や妊娠
を希望するかどうかなどによっても異
なるので、医者とよく相談し、納得し
たうえで選ぶことが重要です。そのた
めにも信頼できる医者を選ぶことが、
この疾患の大きなポイントです。